

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和4年7月19日

評価対象事業		評価者	歴史まちづくり推進担当担当課長 森 啓匡	
歴史-01	世界遺産条約登録事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	文化財課
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の歴史的遺産を世界遺産一覧表へ掲載するため。
効果	鎌倉の歴史的遺産を確実に後世に伝えるとともに、古都としての風格を保った鎌倉らしいまちづくりに資する。

2 令和3年度（2021年度）に実施した事業の概要

- ・世界遺産登録に向けて新たなコンセプトの構築を目指し、専門家への意見聴取などの調査研究を実施した。
- ・文化財保護や世界遺産登録に向けた啓発のため、神奈川県教育委員会との共催で文化財保護ポスター事業を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症による事業の見直しに伴い、本市の共催を見合わせたことから、神奈川県が単独で実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和元年度に実施できなかった講演会の開催を引き続き延期した。

3 事業を構成する事務事業（最小事業）実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 （主な経費等）	指標（単位）	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標（実績値／目標値）	事業費（決算／当初）（千円）	指標（目標値） 予算額（千円）	
01	世界遺産登録調査研究事業	世界遺産登録に結び付く新たなコンセプトの構築に向けた調査・研究	/	- / -	-	-	/
				10 / 50	0	0	
02	世界遺産登録啓発事業	神奈川県教育委員会主催の文化財保護ポスター事業の共催（新型コロナウイルス感染症により共催を見合わせ）		- / -	-	-	
			0 / 0	140	140		
03	一般事務経費	事務の執行に必要な消耗品等の経費	- / -	-	-		
			2 / 5	35	35		
04			/				
05			/				
06			/				
07			/				
08			/				
09			/				
10			/				
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	12 / 55	175	175	
		事業費の合計（千円）		12 / 55	175	175	
		人件費（千円）		5,635	4,374		

4 この事業に関わる職員数（4月1日時点）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.4	0.4	0.4			
会計年度任用職員	2.0	2.0	1.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	世界遺産登録調査研究事業	調査研究活動の到達点は、世界遺産への登録であり、数値等の指標によって達成度を測ることが難しいことから、指標を設定していない。	世界遺産登録においては、鎌倉が持つ顕著で普遍的な価値を明らかにする必要がある、鎌倉に関する調査や研究を行うことは、世界遺産登録に直結するものであるため、妥当である。	・世界遺産登録に結び付くコンセプトの構築に向けて検討を進めてきたが、イコモスが認める「顕著な普遍的価値」に到達できる新たなコンセプトの構築には中長期的な時間を要する。 ・今後も職員だけでなく、専門家等から意見を徴取し、今後の事業内容の方向性について明らかにしていく必要がある。
02	世界遺産登録啓発事業	新型コロナウイルス感染症に伴い、講演会等を開催できておらず、現状では指標を設定できない状況である。	鎌倉の魅力を発信し、世界遺産登録にふさわしいまちづくりを目指すうえで、啓発による市民等の理解の向上及び機運の醸成は欠かせないものであるため、妥当である。	令和3年度(2021年度)も、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う全庁的な事業の見直しに伴い、文化財保護ポスター事業における本市の共催を見合わせた(主催は神奈川県教育委員会)。令和4年度(2022年度)以降については、再度の共催を予定している。 令和4年度(2022年度)以降はアンケート等を通じて世界遺産登録に向けた市民の意識、理解度等を測る指標を設定していく必要があると考えている。
03	一般事務経費	-	-	-
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-1 今後、市民等との協働による事業を検討すべき事業がある 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・世界遺産登録に達成しうる新たなコンセプトの確立に向け、引き続き調査・研究を行い、中長期的な目標として世界遺産への登録を目指す。</p> <p>・鎌倉の価値を高めるため、鎌倉固有の文化財であるやぐらの調査を行うことが考えられる。教育委員会と協力し、発掘調査等の実施を検討する必要がある。</p> <p>・世界遺産登録に関する市民等の理解の向上及び機運の醸成を図るため、SNS等で市内の構成資産候補となりうる社寺、史跡等の情報を発信するほか、文化財保護ポスター事業の本市共催の再開を目指す。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)		単位					
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)		単位					
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	世界遺産暫定一覧表登載の文化遺産登録状況							
団体名	古都鎌倉の寺院・寺社ほか	彦根城	飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	北海道・北東北の縄文遺跡群	金を中心とする佐渡鉱山の遺産群	百舌鳥・古市古墳群	平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-(拡張)
他市実績				H30登録	R3登録		R1登録	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	世界遺産条約登録は、日本国が暫定一覧表に登載し、世界遺産委員会への推薦を、原則1年に1件ずつ行っていることから、その登載資産の登録の状況を把握することで、本市事業に関する環境をとらえることが必要であるため。
----------------------	---